

事務事業評価シート

(平成 25 年度実施事業)

事務事業名	放置自転車対策事業			事業コード	1474
所属コード	087000	課等名	交通政策課	係名	交通対策係
課長名	片岡 修	担当者名	舘山 晃治	内線番号	2764
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

1 事務事業の基本情報

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	快適な都市機能	コード	7
	施策	都市活動を支える交通環境の構築	コード	8
	基本事業	自転車, 歩行者のための交通環境の構築	コード	3
予算費目名	一般会計 8 款 4 項 9 目 放置自転車等対策事業 (001-05)			
特記事項				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	平成 7 年度	
根拠法令等	盛岡市自転車の安全利用及び利用促進並びに自転車等の放置防止に関する条例, 盛岡市自転車等駐車場条例等			

(2) 事務事業の概要

歩行者の通行の妨げとなる路上自転車の放置を防止するため、盛岡駅前等の放置禁止区域等において自転車の撤去、保管等の業務を行うと共に、各駅前に設置している自転車等駐車を管理する。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

平成 7 年の盛岡市自転車等放置防止条例施行に伴い実施した。

条例制定前は市の自転車放置防止要綱に基づき放置防止を指導してきたが、放置自転車の状況から要綱では効果の面で限界が生じてきた。また、全国の自治体の取り組み状況などを勘案して、新たな方策を検討する必要性が生じてきたため、条例の制定に至ったものである。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

放置自転車は年々減少傾向にあるが、依然、年間約 2000 台の自転車を撤去しており、引き続き対策が必要な状況にある。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象 (誰が, 何が対象か)

盛岡駅周辺の公共の場所 (主に市道) に放置されている自転車等

(2) 対象指標 (対象の大きさを示す指標)

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	26年度 見込み
A 盛岡駅前自転車駐車場の収容台数	台	1,862	1,862	1,862	1,862	1,862
B						
C						

(3) 25年度に実施した主な活動・手順

放置禁止・規制区域において, 放置自転車が歩行者等に対し迷惑をかけているとのPR活動を行い, 放置された自転車の撤去業務, 保管・返還業務, 自転車駐車場の管理運営業務を委託等にて実施した。盛岡駅西口自転車等駐車場との共通利用を図るため, 老朽化している発券機等の機器の更新や照明のLED化等を実施した。

(4) 活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	26年度 目標値
A 禁止区域内の放置自転車等撤去台数	台	1,756	1,841	2,040	1,499	1,656
B 年間の自転車駐車場の利用台数	台	58,578	59,774	48,000	58,782	52,079
C						

(5) 意図 (対象をどのように変えるのか)

市道等における放置自転車を防止していくことで, 歩行者の通行の確保や体の不自由な方への危険の回避を図るほか街の美観を保持する。また, 自転車所有者のモラルの向上を促す。

(6) 成果指標 (意図の達成度を示す指標)

指標項目	性格	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	26年度 目標値
A 禁止区域内の放置自転車等撤去台数	<input type="checkbox"/> 上げる <input checked="" type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	台	1,756	1,841	2,040	1,499	1,656
B 1日当りの平均利用率 (年間駐輪場利用台数/365/駐輪場収容台数)	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	%	8.6	8.8	7.1	8.6	7.6
C	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	23年度実績	24年度実績	25年度計画	25年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	4,206	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	23,284	26,949	25,271	27,134
	⑤その他(雑入など)	千円	17,299	16,517	18,717	15,052
	A 小計 ①～⑤	千円	44,789	43,466	43,988	42,186
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	3,000	4,000	2,000	4,000
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	12,000	16,000	8,000	16,000
計	トータルコスト A+B	千円	56,789	59,466	51,998	58,203
備考						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

① 施策体系との整合性

歩行者の安全で円滑な通行の確保と街の美観維持を目指しているため、整合性が図られている。

② 市の関与の妥当性

条例に基づく対策等であるため、市が行うべきである。

③ 対象の妥当性

条例に基づく対象であり、妥当である。

④ 廃止・休止の影響

盛岡駅周辺の放置自転車が増加する恐れがあるため、歩行者の安全で円滑な通行の確保や街の美観保持に与える影響が大きい。

(2) 有効性評価 (成果の向上余地)

自転車等駐車場の施設情報の周知及び利用促進活動により成果向上の余地がある。

(3) 公平性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

特定の受益者はいない

(4) 効率性評価

自転車撤去、駐輪場の管理とも必要最低限の事業費で行っており削減の余地はない。

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 改革改善の方向性

放置自転車については、盛岡駅前自転車駐車場及び盛岡駅西口自転車等駐車場の利用促進を実施することにより放置自転車を削減が見込まれる。

一時的に撤去を強化することにより、放置自転車の台数を減らすことが可能と見込まれる。
路上に駐輪させない工夫が必要である。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

放置自転車の撤去を強化すると事業費が一時的に増加することとなり、その予算の確保が課題である。

また、路上駐輪防止のための呼びかけには多くの人員を配置する必要があり、人件費の確保が課題である。

5 課長意見

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

平成 25 年度に盛岡駅西口自転車等駐車場との共通利用にむけた改善や照明の LED 化等への取り組みは評価できる。

今後は、盛岡駅西口と東口の一体化により、事業の効率化とサービス向上に取り組むとともに、放置される前に放置を防止する取り組みを進める。